

Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro S.A. DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は大口フローの噂などによって振らされる展開でした。朝方はウクライナでの危機が深刻化したことで新興国全般への懸念が再燃したため、前日比レアル安の2.40台半ばから始まりました。一時的に2.41台前半での取引もありましたが、纏まった輸出玉が出たとの噂からレアル高に切り返し2.40を割り込みました。午後には先週分の為替フロー統計が資金流入を記録したことからレアルは続伸し、2.38台半ばへレアルは買われました。その後FOMC議事録がテーパリング継続を示唆していたことからドル上昇となり、結局2.39台前半で引けています。

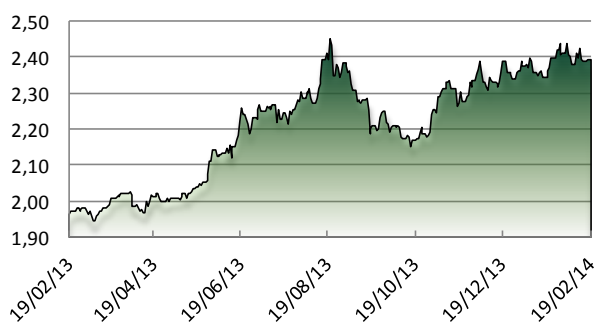
ルセフ大統領の支持率は調査会社MDAが先日行った世論調査によると前回11月の58.8%から55%に下落しました。下落したとは言え未だに圧倒的首位に立つルセフ大統領の再選が濃厚であることは変わりありません。ルセフ大統領の強みはルラ政権から引き継いで貧困層の割合を引き下げ雇用を創出して実質賃金を上昇させている現職の実績があるからですが、それは財政に負担を強いてきており大統領就任以来の低成長で限界に近づきつつあります。需要喚起を重視し過ぎて投資による供給面強化を並行して進めなかったつけは非効率性が改善せずインフレ体質を温存してしまったことに現れています。投票行動に直結するインフレ抑制は構造改革ではなく本来やりたくなかった政策金利の大幅引き上げで何とか凌いでいる状態です。支持率下落が構造改革を進めるきっかけになればよいのですが、目の前に選挙がある限り旧来の手法から抜け出すことは難しいでしょう。

マーケットデータ

Indicator	Unit	2月18日	2月19日	前日比	1月17日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	42,72	42,74	+0,02	44,53	-1,79
USD / BRL Spot	BRL	2,3958	2,3937	-0,0021	2,3425	+0,0512
USD / JPY Spot	JPY	102,36	102,31	-0,05	104,32	-2,01
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	46.600	47.151	+551	49.182	-2.031
CDS Brazil 5yrs (クレディットデフォルトスワップ)	bps	187,6	187,8	+0,2	196,5	-8,7
Brazil 5yrs Gov. Bond	%	12,82	12,87	+0,05	12,68	+0,19
DI Future Jan15 (金利先物)	%	11,12	11,13	+0,01	10,92	+0,21
3 Months US Dollar Libor	%	0,235	0,234	-0,001	0,237	-0,003
CRB Index (国際商品指数)	Index	298,5	301,7	+3,2	278,4	+23,3

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

